

FUSO

No. 95 | 2025 Mar./Apr.

magazine

特集

脈々と続く“駿馬”の意志 Canter & eCanterの 過去・現在・未来

未来へ、はこぶ人。

俳優 笹野高史さん



CONTENTS

3
サステナブルで未来へ向かう
株式会社聖菱運輸

6
特集 脈々と続く“駿馬”の意志

Canter & eCanterの 過去・現在・未来

11
皆さまに感謝の思いを込めて
納入台数大台突破 記念表彰

12
「ワイズ・システムズ」で物流が変わる！
ワイズ・システムズで時短！
おすすめの便利機能3選

13
未来へ、はこぶ人。
俳優 笹野高史さん

16
FUSO INFORMATION

17
三菱ふそうからのお願い

18
Ranking & Voices

19
Present

©FUSO magazine 本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写、転載を禁じます。

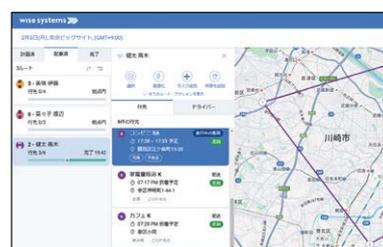


FUSO magazine

No. 95 | 2025 Mar./Apr.



Present



2025.03/04



サステナブルで
未来へ
向かう

We are Future-oriented



株式会社聖菱運輸

地域と従業員に「愛されること」が経営継続のカギ 事業の多角化推進で唯一無二の存在を目指す

2024年に創業30周年を迎えた株式会社^{せいりょう}聖菱運輸。2代目の伴文夫代表取締役は地域密着経営を徹底し、こまめな情報発信と車両の刷新を継続することで従業員の求心力を高めて、慢性的な人手不足やドライバーの高齢化などの経営課題を次々に克服してきました。2025年秋には地元・栃木県さくら市の学校給食配送事業にも参入する予定。「人材派遣など輸送+αの事業を展開することで経営の多角化を推進し、より魅力的な企業を目指したい」と語る伴代表取締役に、今後の展望についてお話を伺いました。



株式会社聖菱運輸
代表取締役

伴 文夫氏

きめ細かな情報発信で、
「選ばれる企業」に

— まずは、御社の事業概要を教えてください。

聖菱運輸は1994年に有限会社聖菱運輸として創業しました。当初は建築現場などで使うレンタルハウス（仮設ハウス）の運送を主に手掛けていましたが、徐々に一般貨物運送業務へシフトし、現在は車両77台体制で栃木県内のお客さま（主にホテルやドラッグストアなど）の荷物を県内外に運送する業務を行っています。当社の強みは、多彩な車両を保有していること。常温車はもちろん冷蔵車も取りそろえ、お客さまのあらゆるご要望に柔軟に対応する「チャーター便」を走らせることによってオーダーメイドのサービスを実現し、少しずつお客さまからの信頼を勝ち取ってきました。

— 地域密着を経営ビジョンに掲げていらっしゃると思いますが、どういった思いがあるのでしょうか？
地域に愛され、必要とされる企業

であることが、当社の存在意義そのものであり、当社が今後経営を継続させるうえで欠かせないことだと考えています。特に当社の場合は従業員もほぼ100%地元・栃木からの採用なので、人材を集めるには栃木の人に愛され、「三菱運輸で働いてみたい」「自分の家族に働いてほしい」と思っていただける企業であり続ける必要があります。

しかし、先代の父が経営を担っていた時代はなかなかそこに手が回らず、人材不足が慢性化。私が社長を引き継いだ2018年ごろには、ピーク時に約70人いた従業員が30人以下にまで減ってしまっていました。ここまでは人手が減ると、いくら良い車両を取りそろえていても、お客さまのご要望通りのサービスを臨機応変に提供できません。そこで一念発起して経営改革に挑み、従業員獲得に本腰を入れて取り組むことにしました。

まず、着手したのがWebサイトの開設です。大手の企業ではWebサイトがあるのが当たり前ですが、私たち中小企業では作っていないケースが珍しくなく、当社にも2019年までありませんでした。自社のサイトがないと事業や会社の特徴について外部の方に知っていただくことが難しいんですね。例えば、求人広告を見て当社に興味を持たれてもWeb検索で詳細を調べられませ

から、実際の応募につながりにくいのです。そこで新設したWebサイトには、多数の社員にも登場してもらい、当社で働くメリットをしっかりとアピール。主に、自分の希望に合った働き方が見つかる、アットホームな雰囲気がある、年末年始や夏季休暇といった長期連休が取れるなどですね。そして、ドライバーの安全を守る車両整備(ドライブレコーダーによる記録やデジタルタコグラフによる管理)も詳しく紹介して、応募者本人さまのみならずご家族の皆さまにも安心していただけるような情報発信を心掛けました。

同時に、地元のプロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」の協賛もスタート。試合会場に社名入りの看板を表示するなどして、会社の知



2022年11月に開催された宇都宮ブレックスの試合に際し、ブレックスアリーナ宇都宮に展示されたラッピングトラック。

名度UPや運送業のイメージ向上に取り組んでいます。また細かいことですが、社名の「三菱」の読みが難しいとの指摘を受け、「SEIRYO EXPRESS」というロゴを新しくつくりました。こういった努力や工夫を積み重ねることで少しずつ求人応募数が増え、現在は社員数41人にまで回復しています。

従業員の「ワクワクする気持ち」が、事業継続と成長の原動力

——人材の定着率UPには、どのような工夫をしていますか？

まずは、アットホームな雰囲気をつくることです。例えば、ハロウィンやクリスマスといった季節のイベントには、従業員にお菓子など簡単なプレゼントを用意して持ち帰ってもらいます。これは当社からの「ご家族にも感謝していますよ」というメッセージ。ご家族にも「ちゃんと従業員を大切にしている会社だな」と認識してもらい、当社で働くことを応援してもらいたいと願って、取り組みを続けています。

あとは、常に従業員にワクワクしてもらえらる会社づくりをすることですね。特に力を入れているのが車両のこまめな刷新です。私自身、トラックに乗務するのでよく分かるので



毎年恒例のクリスマスプレゼント。「ドライバーさんの喜ぶ姿に、自分も元気づけられる」と伴社長。

すが、新しいトラックはデザインもカッコいいし、安全性も高いので、乗っていてすごくテンションが上がるんですよね(笑)。ドライバーの皆さんに「三菱にいたら、新しいトラックに乗れる」というワクワク感を持っていただけるように、これからも積極的に安全性の高い新型車両の導入に努めたいと思っています。三菱ふそうさんには、これからも新型車両のご提案をぜひお願いしたいですね。

給食配送に、人材派遣……新規事業にも果敢に挑む

——他に、経営継続において大事にされていることは何かありますか？
そうですね。従業員の皆さんに「社

長は、次は何をするんだらう？」と期待してもらえよう、私たち経営陣がどんどん新しいチャレンジをすることも大切に行っています。例を挙げると、これまで当社は一般貨物運送のみを手掛けてきましたが、2025年には地元・さくら市の学校給食の配送業務を受託し、9月から給食センターから各学校への給食の配送を始めることになっています。子どもたちの食をダイレクトに支える業務なのでドライバーのやりがいも大きいですし、当社にとっても経営の多角化の第一歩になるのではないかと期待しています。将来、子どもたちが聖菱運輸のトラックを見て「あ！学校に給食を持ってきてくれるトラックだ」と思ってもらえたらうれしいです。



2023年12月、定期的新規案件を受注。荷積み・荷下ろしの待機時間がなく、荷下ろしが24時間可能なため、同社の既存の運行と併せて無駄なく配送ができる。

すね。この業務は市外に出ることもないですし、午後の早い時間には業務が終わりますので、これまで当社での就業が難しかった子育て中の女性や高齢のドライバーさんにも活躍の場ができるという意味でも、とても意義がある挑戦だと思います。

また、2025年は新たに人材派遣事業にも参入します。もともと、お取引先から「倉庫で荷さばきをする人材が欲しい」というリクエストを受けて構想を始めたのですが、運送業務に経験と知見がある当社ならお客さまに喜ばれる人材を派遣できると判断し、事業化に踏み切りました。将来的には倉庫だけでなく、製造業や物流など運送事業と親和性の高い事業分野への人材派遣も展開して、運送事業に並ぶ当社のコア事業へと育てていきたいと考えています。そうすることで逆説的ではありますが、企業としての体力を増強し、運送事業の確実な存続につなげていくのが現在の私のミッションです。

M&Aも視野に経営を多角化。リスク分散で運送業の継続を目指す

——事業の多角化など新たな挑戦に必要な情報は、どうやって収集しているのですか？

とにかく、どんどん外に出ている

ろな人と交流することです。地域密着・地元貢献とはいっても、地元にいると、どうしても地元の常識から離れられなくて、アイデアが限定されがちになってしまいうからです。私の場合も定期的な都内で開催される業界の勉強会に出て、全国の運送業者の皆さんと勉強したり情報交換したりする場を持つようになっています。栃木県から出ることで、客観的に栃木県内の運送業界が置かれている状況や課題が明確に見えてくるようになります。また、同じ悩みを抱える方と話をすることで思いがけず課題解決の糸口が見えてきたこともありますし、そこでの付き合いから新たな仕事を受注できたこともありま。これからも積極的に外に出て、より良い情報をいち早く栃木に運んでいきたいと思っています。



東京で伴社長が出席された勉強会の様子。自身の経営の在り方について見直すいいきっかけにもなるという。

——今後の展望を教えてください。

先ほども申し上げた通り、経営の多角化を加速していきます。人材不足や燃料の高騰など運送事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、この事業のみに注力していると会社の経営自体が立ち行かなくなるリスクがあるからです。当社の原点である運送事業の継続を死守するために、多角化による経営リスクの分散は必要不可欠だと思っています。異業種にゼロから参入するのは難しいですが、M&Aを視野に入れば不可能なことではありません。常にチャレンジする姿勢を忘れず、「聖菱は面白いことやっているな」とワクワクしてもらえる会社、地域にも従業員にも愛され、誇りに思っていただける会社を目指してまい進していきたいと考えています。どの事業を行うにせよ、車両は必需品。三菱ふそうさんにはこれからも頼りになるパートナーとして、当社の成長を支えていただきたいと期待しています。

株式会社聖菱運輸

〒329-1412
栃木県さくら市喜連川2946
代表取締役 伴 文夫
創業：1994年
従業員数：41名
(2025年1月現在)
車両保有台数：77台
(2025年1月現在、被牽引車を含む)

PAST

PRESENT

FUTURE

の過去・現在・未来

その誕生から半世紀以上、物流業界を支え続けてきたCanter。環境性能が求められる昨今でも、eCanterと共に輸送の前線で活躍している。60年以上の歴史を誇る系譜、EVの未来を担う自動バッテリー交換システムの実証実験、EVの今が分かる寒冷地での試乗体験から、この車両に託されたものを紐解いてゆく。



1963

初代Canter(T720)

全てはここから始まった

小型トラックの分野にFUSOブランドとして初めて参入した「Canter」。当時このクラスは競合他社も多い中、優れた走行性能を持ちつつ低燃費なトラックとして、クラス随一の評価を受けた。

PAST

2009

「平成22年排出ガス規制」を実施

これまでディーゼル車への規制はガソリン車より緩やかだったが、この年から厳格化され、従来より約40～65%の削減が求められた。

2006

Canter Eco Hybrid (ACG-FE) を発売

モーターとエンジンの両方を用いて車両を駆動する、パラレル式ハイブリッドシステムを導入。平成17年排出ガス規制をクリアし、燃費向上にも効果をもたらした。



ECOに移りつつ 躍動感を増す 走行性能

環境性能の進化や燃費性能の向上などと比例して、エンジン性能もアップし、走りに力強さが増しているCanterとeCanter。この2台の歩みを、時代の流れを受けてECO路線へと大きく舵を切った2006年から振り返る。

2010

Canter E-CELL(プロトタイプ)がIAA 2010に初出展

ドイツで開催された「IAA国際商用車ショー2010」で、世界初公開となるEVトラックのコンセプトモデル「Canter E-CELL」を出展。リチウムイオンバッテリーとモーターを搭載し、6時間の充電で約120kmの走行が可能。



2005

「平成17年排出ガス規制」を実施

「新長期規制」とも呼ばれるこの規制。トラックとバスでは、粒子状物質を従来よりも85%、窒素化合物を40%、炭化水素を80%削減が求められ、厳格化された。

特集

脈々と続く“駿馬”の意志

Canter & eCanter

トラック業界をけん引する
小型クラスの先駆者

創業以来、トラック業界に新たな
インスピレーションを与え続けてき
た三菱ふそう。その役割を担った車
両の一つがCanterだ。

駿馬の健脚をイメージした当車両
は、走行性能と燃費の良さで評価を
得る。1962年の首都高速道路の
開通により、輸送の長距離・高速化
が日常となった高度成長期には、多
種多様な用途の輸送にて利用され、
日本の輸送効率化に貢献してきた。

環境問題がテーマとなった21世紀
も、その進化は止まらない。省燃費
を実現した改良エンジンの導入、ハ
イブリッド技術による環境性能を実
現し、ガス規制や燃費基準などと
いった時代の要求にも対応してきた。

時代のニーズに応えた
eを冠する新たな駿馬

2017年には輸送の歴史を変え
る世界初の量産型EV小型トラッ
ク、eCanterを発売。温室効果
ガスや排ガスを排出しないゼロ・エ
ミッション輸送の実現、一般的な
ディーゼル車よりも優れたランニン
グコストで業界に衝撃を与えた。



2022年にはシャシラインアッ
プの拡大、動力取り出し装置である
ePTOの追加、最大3個まで搭載
可能なモジュール式バッテリーを採
用した新型eCanterが登場。
架装のバリエーションも大幅に増え、
多様なビジネスケースに適したEV
トラックとしてさらなる進化を遂げ
た結果、累計の納車台数は現在
2000台以上を突破している。
三菱ふそうは2039年までに、
国内に導入する新型車両を全て電動
化する目標を掲げており、今後は
eCanterがさらに増えていく
見通しだ。その一方、Canterは
2024年に安全装備の拡充、イン
テリアの一新、エンジンの改良を施
した新型モデルを発売し、今もなお
進化し続けている。「お客さまのため
に常に先進である」という先駆者精
神を受け継いだ2つの駿馬は、バ
トンを渡しながらトラックの未来を
支え続けていく。

2024

安全性能やエンジンなどをアップデート

2月に発売された新型Canterは、3つ
のアップデートを実施。アシスト機能
の拡充により安全性能を向上、新たな
コックピットを搭載しインテリアを一新、
また高性能かつ高耐久の新型エンジンを
採用。現代のトラックのニーズを想
定したものとなった。



2016

国内トップレベルの 燃費性能を達成した Canter (TRG-FEA) が登場

エンジンの燃焼効率を向上させることで、国内トップレベルの
省燃費性能を実現。また、インテリアデザインは黒とシルバー
を基調とした色調に。落ち着きがありながら、ラグジュアリー
さも感じさせる居住環境となった。



2015

重量車燃費基準 が設定

総重量が3.5t以上とな
るトラック・バスが該当。
三菱ふそうではCanter
を筆頭に、全車両でこの
基準を達成した。



2022

eCanterの次世代モデルを販売開始

従来の1車種から28車種に増えたホイールベースに
応じて、バッテリーを1〜3個搭載可能なモジュ
ール式バッテリーを採用。バッテリーを3個搭載し、お
客さまの用途に応じて航続距離も選べるようになっ
た。またePTOを装備し、架装の幅も広がった。

2017

世界初の量産型電気小型 トラックeCanter (FEB80) を販売開始

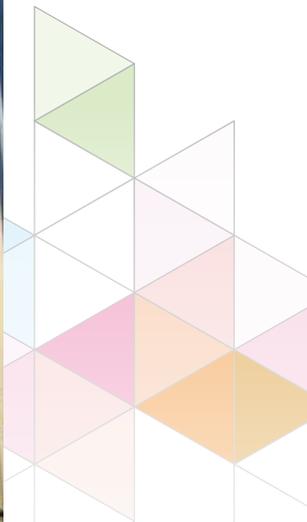
自動車メーカーとしては世
界初となるEVトラックの量
産化を実現し、川崎工場に
てeCanterの生産を開始。
高性能なりチウムイオンバッ
テリーを6個搭載し、一度
の充電で約100kmの走行が
可能に。静音性も高く、市街
地での稼働にも対応した。



2011

環境問題への 対応策をまとめた 新環境中期行動計画 を策定

三菱ふそうの環境に対する
活動の基本計画を策定。「省
エネルギー・地球温暖化へ
の取り組み」など、達成すべ
き6つの課題を設定した。



FUTURE

自動バッテリー交換システムが “e”の実用化を加速させる…!!

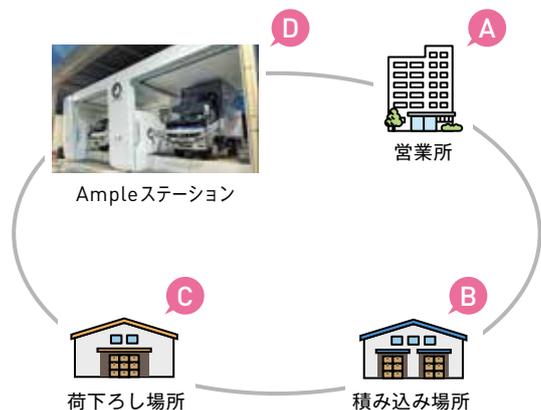
米国 Ample 社が生み出した全自動バッテリー交換ステーション。三菱ふそうは eCanter を利用し、この実証実験を2024年に実施。既存の充電ソリューションに大きな変革をもたらし、EVシフトへの貢献も期待できる、この新技術の実像を探った。

まるでガソリンスタンド？
15分でフル充電の状態に！

2024年8月、三菱ふそうは米国のスタートアップ企業である Ample 社のバッテリーモジュールを eCanter に搭載し、某市内でバッテリー交換技術の実証実験を開始。街中に設置されたバッテリー全自動交換ステーションに、電池残量の減った eCanter が入庫すると、ロボットアームが充電済みのバッテリーと交換してくれる、画期的な仕組みとなっている。

実際の実証実験ルートの一例 (2日分)

実験期間中、AからDまでのルートを2日間で2周走行したことがあった。バッテリー交換は所要時間が短くて済むため、急速充電に比べて業務に割ける時間が増加。バッテリーを交換するまでのインターバルも長く、長距離を走行できた。



急速充電器でEVトラックを充電する場合、1〜2時間程度必要だが、ステーションにて行うバッテリー交換では、現状だと充電済みバッテリー

リーに15分で交換可能。最終的には約5分を目標としている。ステーションが増えれば、エンジン車にガソリンスタンドで給油するような感覚で、EVトラックを運転できる。

また、このステーションはEVの乗用車でも利用可能。バッテリー交換のインフラとして定着させることができれば、脱炭素社会の構築に向けた課題であるゼロ・エミッション車両の普及において、大きな原動力となることも見込んでいる。

ドライバーにとっての利便性と、地球環境への配慮を同時に叶えられる、この取り組み。実証実験によって課題は見つかったものの、参加したドライバーからの評価は上々、EVの実用化にまた一歩近づいた。

バッテリー自動交換の仕組み

たったの数分で充電済みバッテリーと交換してくれる、全自動交換ステーション。この画期的なシステムはどのような流れで行われているのか、具体的な手順を詳しくご紹介。



1 充電が必要な車両ごと、ステーション内に入庫。所定の位置に移動し、停止する。



2 バッテリーパックは車両下部にあるため、リフトアップして車両の下にスペースを作る。



3 ロボットアームが動作を開始。電池残量の減ったバッテリーを取り外す。



4 ロボットアームが、ステーション内でフル充電されたバッテリーパックを取りつけ、交換完了。



5 交換が完了した後は、自動的にリフトが下降。すぐに出発することができる。

実験に参加したドライバーの声

実証実験に参加したドライバーからは、この技術に対する好意的な声を多くいただいたが、具体的な要望も多かった。

参加ドライバーたちが感じた、リアルな声を聞いてみよう。

交換時間について

コンセントを使った充電で8時間かかるのが、交換だと15分で済むのはGood。でも10分だとなおうれしいです！

Aさん

交換タイミングについて

ステーションの数がもっと増えたら、運用の幅がかなり広がりますね！

Bさん

設備について

暗くなると駐車しにくくなると思うので、反射板で目印をつけてほしいですね

Cさん

三菱ふそう担当者より

今回の実証実験では、運用するためのノウハウを蓄積できた上、参加者の方々から率直な意見をいただいたことで具体的な課題も可視化できました。新しいエネルギー供給インフラとして実現・普及していくことができるように、改善いたします！



今後の課題

- 交換時間の短縮
- ステーション数の増加
- 航続距離の延長
- 行政との連携

現状の利点

- 狭小スペースでも設置が可能
- 乗用車と商用車、両方に対応可能

寒冷地で“eCanter”の今を知る 雪上試乗会レポート in 北海道

「寒さでバッテリー消費量が増加するのではないか？」など、寒冷地でのパフォーマンスが懸念されがちなEV。三菱ふそうのeCanterは、申し分のない走行性能&航続距離と、寒冷地でも高い能力を発揮できることを実感していただくために、北海道で雪上試乗会を敢行。“eCanterの今”をお届けする。

特設コースでの試乗



旋回性能や、エンジンの駆動力を路面に伝えるトラクション性能を試したところ、スリップは皆無。空転を防ぐASR(アンチスピンレギュレーター)や車両安定性制御装置のおかげで、快適な走行を楽しめた。

公道での試乗



雪の林道で坂道を下りる際、急激なブレーキをかけるとスピンの恐れが。しかしeCanterの回生ブレーキは強さを4段階調整できるため、ブレーキを踏まずに安心して下ることができた。

●試乗会に参加された メディアや物流関連会社さま からの声

B社

トラックの運転が不慣れでも、回生ブレーキのおかげなのか問題なく運転できました。ただ、寒冷地で電力減少がどれくらい影響するのかは気になります。

A社

林道での登りの走行性と下りの回生ブレーキが安定していて、雪のない路面と変わらない走り心地でした。スタッドレスタイヤはコーナーで違いを感じることができました。

C社

EVの二輪駆動でも、思いのほか走れることに驚きました。あとはスタックしたときの脱出装備があると安心ですね。

寒冷地用の装備も体験！

スタッドレスタイヤ



今回は、TOYO TIREのEVトラック専用の「M951EV」を装着。高い氷雪上性能に加え、タイヤの消費が早いEV用に耐摩耗性能を向上させ、走行性がさらにアップ。

バッテリープレコンディショニング機能



バッテリーを事前に温める「バッテリープレコンディショニング機能」を搭載。これにより、寒冷地でも効率的な走行や充電が可能になる。

PRESENT

寒冷地での機能も
盛りだくさん
こちらの動画を
参照



寒さに弱いイメージを払拭
冬季こそeCanterを！

三菱ふそうは2025年1月21日から3日間にわたり、北海道でeCanterの雪上試乗会を開催。旋回性能やトラクション性能などを体感できる特設コースと、坂道での走行性を体感できる公道で行った。

特設コースの試乗では、TOYO TIREによるEVトラック専用のスタッドレスタイヤ「M951EV」を装着して走行。雪上路面での高い旋回性能や、コーナリング性能を披露した。

公道では、雪の林道の坂道などを走行。圧雪路の坂道を下りるには繊細な運転が必要となるが、緻密に制御できる回生ブレーキのおかげで、ワンプedalでストレスなく走行できた。雪道走行におけるイメージの払拭どころか、冬季も乗りたいたいと思わせるeCanter。EVシフトの急速化を予感させる結果となった。

納入台数大台突破 記念表彰

三菱ふそうのトラックを多数導入いただいたお客さまに、感謝の気持ちを込めて表彰式を開催。その様子と共に寄せられたコメントをご紹介します。



株式会社アイエヌラインさま

創業当初からご愛用いただき
ありがとうございます！

300台突破！

創業時、三菱ふそうのトラック5台からスタートされたとか。発展のそばに弊社の車両があったことを、喜ばしく思います。今後ともよろしく願います！



福岡県築上郡吉富町大字直江656番地1
代表取締役社長 奈賀 幾次郎
創業：2002年
従業員数：638名（2024年12月現在）
車両保有台数：568台（2024年12月現在）
事業内容：一般貨物自動車運送事業、物流システム開発、中古車販売事業、梱包・組立事業、引越事業など

アイエヌラインさまよりメッセージ

高品質な車両と丁寧な対応のスタッフに感謝

「安全性、快適性、走行安定性、燃費の良さという車両自体の高いクオリティーに加え、困った際はすぐに来てくれる迅速かつ細やかな修理対応に、何度も助けられています。今後とも高品質な車両を生み出してくれることを期待しています」



私たちが掲げる理念は「安全・品質は我が社の商品」。謙虚・礼節・感謝という倫理的な行動を意識し、未来へと前進します！



（写真左）2024年11月、車両納入数300台突破を記念して、株式会社アイエヌラインの本社にて記念式典を開催。（写真右）九州ふそうの近藤恭彦支配人から奈賀幾次郎代表取締役社長へ、感謝状を贈呈。奈賀社長から「さらに導入台数を増やし、物流活動を加速させたい」という、今後のさらなる発展を予感させるお言葉をいただきました。

いつもご愛用いただき、ありがとうございます！

「ワイズ・システムズ」で物流が変わる！

AIを用いて配送ルート最適化する、配送計画システム「ワイズ・システムズ」。このコーナーでは、ワイズ・システムズに関するさまざまな情報をお届けします。

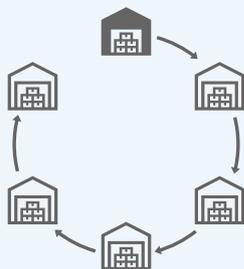


ワイズ・システムズで時短！ おすすめの便利機能3選

1. さまざまな配送方法に対応した計画の自動作成が可能です！

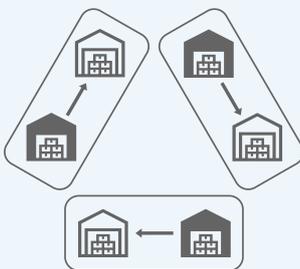
① ルート配送

1カ所で積み込みし、各配送先へ
(途中に集荷を組み込むことも可能)



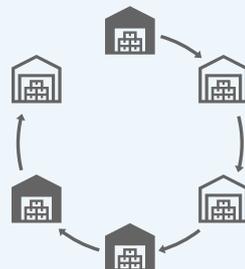
② タクシー方式

決まった集荷先と
その配送先をセットで計画



③ 相乗り方式

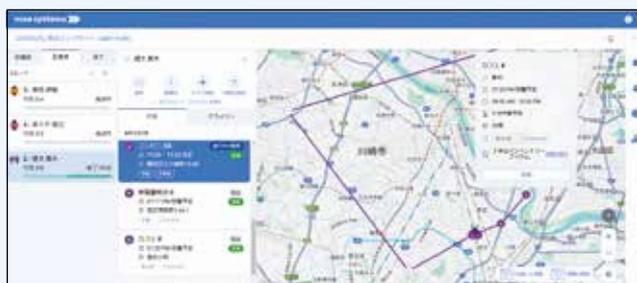
複数の集荷先・配送先を
効率的な順序で組み合わせ



配送方法に合わせて最適なルートを自動作成。配送計画の担当者のルート作成時間を短縮できます。



2. 先々の配送の到着予定時間を 1分ごとにアップデート！



お客さまからのお問い合わせに対して、即座に正確な情報をお伝えしてご安心いただけます。

3. ドライバーアプリで 配送先ごとのドライバー間の 引き継ぎも容易に実施可能！

駐車場所を
地図に記録



注意事項を
メモに記録

ドライバーの引き継ぎの負担を軽減。スマホ一つで完結します。



ワイズ・システムズとは？

「ワイズ・システムズ」は、クラウドを介する配送計画システムです。ワイズ・システムズの導入で、配送の計画から分析まで一括で管理が可能になり、配送効率の向上につながります。



wise systems



詳細はWebサイトを
チェック！

<https://www.mitsubishi-fuso.com/ja/product/wise-systems/>

未来へ、
はこぶ人。

interview

俳優
笹野高史さん

大切なものを大切な人のもとに、はこぶ。
私たちがトラックに込めている想いと同じように、自らの
経験や想いを、未来へ伝えようとしている人がいます。
70代後半を迎えてもなお、映画やドラマに引っ張りだこの
俳優、笹野高史さん。激動の学生時代から、
大好きな車の話までたっぷりとお聞きました。



トラックに、ポルシェ 子どもものときから 車に魅了されてきた

——無類の車好きで知られる笹野さんですが、近年はポルシェを乗り継がれています。きっかけは映画「武士の一分」で共演された木村拓哉さんだとお聞きしていますが、真相はいかがですか？

笹野高史さん（以下、笹野） ポルシェを買うこと自体は自分で決めていたんですよ。で、色をシルバーにするって話を木村さんにしたから、「年をとったら、もっと派手な色の車に乗った方がいいですよ」とアドバイスをくれて。それで黄色のボックススターにしたんですけど、考えてみたらあの時点で僕はまだ50代だったんですよ。若いころから老け役が多いものでして（笑）。

——車好きは昔からですか？

笹野 そうですね。造り酒屋の四

未来へ、
はこぶ人。

interview

「その顔で俳優になるの？」と言われかねない。
だから監督コースを志望しました（笑）

男なので、10代前半から実家の敷地内でトラックに乗る練習をしていました。だから18歳になってすぐに普通自動車免許もとった。もちろん教習所は行かずに、試験を受けて一発合格です。免許ができてのを待っているときに隣のおじさんと話したら、「何度も落ちたよ。君はすごいな」って言うんだけど、僕にとってみれば「何が難しいんだろう」って感じでした。

——以前、当企画に登場していた箕輪はるかさんに触発されて、重機の免許も取得されたとか。

笹野 コマツの油圧ショベルの免許を2日間かけてとりました。もともと工事現場で重機を見るのが好きなんです。時々すさまじく操縦がうまい人がいて、ロボットかっているくらい精密な仕事をする。「やってみたいなあ」なんて思っているときに、箕輪さんから話を聞いて、興味を持ってね。自宅の庭にもスペースがあれば、油圧ショベルを一台欲しいくらいです。



車愛を語るバラエティー番組への出演経験も豊富な笹野さん。写真は2022年に乗車していたポルシェ。

——ちなみに大型免許は取得されていますか？

笹野 持っていないんです。でも学生時代に試験の申し込みをしたことはあります。運送のアルバイトをしていたので有利になると思って。でも急に大学の試験が入って行けなくなってしまった。そうこうしているうちに舞台で忙しくなり、とりそびれてしまいました。

——運送屋さんで働かれていたのですか？

笹野 大学に入ってすぐに始めました。冷蔵庫や洗濯機を積んで、ポロポロの2トトラックを運転してね。まだ上京したばかりで東京

の道なんて全然知らなかったけど、先輩が経路を完璧にメモしてくれて。地図アプリが存在しない時代ですから、本当に助かりました。その人は運送のプロと呼べる人で、すさまじくて今でも覚えています。

憧れの大先輩

渥美清さんとの まぶしい思い出

——俳優を志したのはいつごろでしょうか？

笹野 中学生のときです。子どもころ母親がいろいろな映画館に連れていくんです。ふと見ると、すぐ横で涙を流している。それまで家で泣いているところなんか見たことがなかった。11歳のときに母は亡くなりましたが、中学に入って、母を泣かせた映画ってなんだろうと確かめてみたくなって、映画を見始めたんです。そしたら、めっちゃくちや面白いですよ、映



Takashi Sasano

1948年6月22日生まれ、兵庫県出身。東京して日本大学芸術学部に入學後、劇団「自由劇場」に入団。数々の舞台に出演し、1979年上演の「上海パンスキング」で注目を集める。1982年に劇団退団後、テレビ・映画を中心に活躍。出演作に映画「35年目のラブレター」（2025年3月公開）など。

画って。

—— 東京して日本大学芸術学部に進学された際は、俳優コースではなく、監督コースに入られたの
どとか。

笹野 田舎だから「芸術学部に進学したい」と希望を出しただけでも、先生から「お前、芸術家にもなるの？」なんてからかわれたんです。なので、僕のルックスで映画俳優になりたいなんて言ったら「その顔で？」と言われかねないから、それを懸念して監督コースにしました（笑）。

—— 監督コースで演技の勉強はできるものなんですか？

笹野 できないから「自由劇場」という劇団に入ったんだけど、したら学生運動が過熱して。もうだめだ、日本に居場所はないと思って、大学も中退して船乗りになりました。

—— すごい！ なんでまた船員になるという方向に？

笹野 兄の知り合いの船会社の人が、人手を募集していたんですよ。それで1年半くらい世界中を回って、帰ってきてから改めて自由劇場に復帰した。今度はやっと俳優としてね。もう23歳になっていたからスタートとしては遅い。同世代の佐藤B作さんや柄本明さんが

テレビや映画に始めていたけど、僕は10年舞台一筋で頑張ろうと決めたんです。10年間修業すれば一人前になると思っていたので。

—— 結果、1979年の「上海パンスキング」で当たり役をつかみ、退団後、独立されていますね。

笹野 でも仕事なんか入らないんですよ。ただ当時の事務所が太っ腹でね。出世払いということでお金を振り込んでくれた。そのお金でラジコンのヘリコプターを買って多摩川で遊んでいました（笑）。そのうちポツポツと仕事が来るようになりましてね。ワンポイントの役が多かったけど、「男はつらいよ」なんてそのおかげで毎シリーズ違う役で出演できたから。

—— 渥美清さんにとっても良くしてもらっていたそうですね。

笹野 ありがたいことに僕と柄本明さんのことを面白いと思っていただいたようです。連絡先を教えてくださいまして、3人でよく食事をしました。とある海外俳優の芝居と一緒に観覧したときは、あまりにも退屈で一幕にして渥美さんが席を立ったんです。そのあとご飯を食べながら、渥美さんは決して「つまらなかつた」なんて口には出さずに、気を使って面白い話をしてくれて。照れ屋だけど粋な方でした。

—— 半世紀にわたり、俳優人生を続けてこられた原動力はどこにあるのでしょうか。

笹野 僕にとって、作品はいつも新鮮なものだからでしょうね。あと、昔から良くも悪くも「好奇心が強かつた」からかもしれない。

—— 最後に本誌を読んでいるドライバーたちに、メッセージをいただけますか？

笹野 とにかく安全運転を心がけてください。きちっとした紳士的な運転をするトラックを見ると、本当にうれしくなります。どんな人かなくて、思わずドライバーさんの顔をチラ見しちゃいます（笑）。

Present!!

笹野高史さんの
サイン色紙を
3名様にプレゼント

応募方法はP.19をチェック!



FUSO INFORMATION

イベント

安全輸送株式会社に 新型「eCanter」を納車

2025年1月15日、神奈川県横浜市に本社を置く安全輸送株式会社に新型「eCanter」を5台納入し、本社営業所で納車式を行いました。

神奈川県内のお客さまとしては初めての「5台納入」となります。この「eCanter」は同社が進める脱炭素への取り組みに貢献いたします。

当日の納車式には黒木社長や関係者の皆さまをはじめ、三菱ふそう、ボデーメーカーの株式会社パプコ、神奈川三菱ふそうからは清水社長など多くの方が参加いたしました。



イベント

沖縄ヤマト運輸株式会社に 新型「eCanter」を納車

2025年1月24日、ヤマトホールディングス傘下の沖縄ヤマト運輸株式会社的那覇空港前営業所に新型「eCanter」3台を納車しました。

ヤマトグループと三菱ふそうの双方にとって、沖縄県内でEVトラックを導入するのは、初めての試みとなりました。2021年に新エネルギー計画を策定し、脱炭素社会の実現を目指している沖縄県。今回の納車はその計画推進へ寄与することとなります。

当日の納車式には赤嶺社長、関係者の他、ボデーメーカーや地元のメディアも招かれ、盛大に執り行われました。



ニュース

三菱ふそう中国地区販売株式会社が 新たに業務を開始

両備グループの両備ホールディングス株式会社、株式会社両備ファイナンスが、三菱ふそうトラック・バス株式会社（MFTBC）と共同で設立した「三菱ふそう中国地区販売株式会社」が、2025年2月3日より業務を開始いたしました。同社は広島、山口、鳥取、島根の4県でMFTBCの車両の販売・サービス事業を担う特約販売会社になります。

これまではMFTBCの地域販売部門が4県の販売・サービス事業を担当。今回新会社へ事業を統合したことにより、きめ細かで充実した地域密着型のサービス体制を構築し、さらなる事業拡大を図ってまいります。



三菱ふそうからのお願い

大中小型トラック・バス

シガレットライターご使用時の 注意とお願いについて

シガレットライターソケットはシガレットライターへの電力供給を目的に設定されています。シガレットライターから電気製品の電源を取り出した場合、過大電流が流れソケット部が過熱し火災のリスクが高まり、最悪の場合火災につながる恐れがあります。

不具合事例



シガレットライターを
電源とする電気製品を使用すると、
火災のリスクがあります！

シガレットライター（全車共通）

⚠ 注意

- お子様にはシガレットライターを触らせないでください。やけどをする恐れがあります。
- シガレットライターの金属部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
- シガレットライターを手で押し込んだままにしないでください。過熱して火災を起こす恐れがあります。
- シガレットライターが30秒以上経っても戻らないときはすぐに引き抜いてください。過熱して火災を起こす恐れがあります。故障していますので、シガレットライターを使用せず速やかに三菱ふそうサービス工場にて修理を受けてください。
- シガレットライターを押し込んだまま車から離れないでください。火災を起こす恐れがあります。
- シガレットライターを変形させたときは三菱ふそうに純正部品の交換依頼をしてください。変形はシガレットライターの飛び出し不良となり火災を起こす恐れがあります。
- 交換するときは規定の電圧(24V:大・中型車 / 12V:小型車)のシガレットライターにしてください。12V(大・中型車) / 24V(小型車)用のシガレットライターなどを使用すると火災や故障を起こす恐れがあります。
- **シガレットライターを電源とする電気製品は使用しないでください。過大電流が流れ配線が過熱し、火災を起こす恐れがあります。**また、シガレットライターのソケット内部を損傷させる恐れがあります。
- シガレットライターの挿入口内部に水などが入ってしまったときは、ショートによる火災を起こす恐れがありますので、三菱ふそうサービス工場にて清掃をお受けください。

⚠ 注意



先端部にゴム製の抜け止めが装着された電源プラグの使用による不具合事例が報告されています。

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。

Ranking & Voices

三菱ふそうユーザー

三菱ふそうユーザーの皆さまのパーソナルに迫るアンケートを実施。さまざまなご回答の中から編集部がピックアップしてご紹介します。引き続きプレゼント応募フォームからのご回答をお待ちしております。

皆さまの声を
お聞かせください！



2025年01/02号のアンケートテーマ

おすすめのお花見スポットはどこ？

大阪城

やはりお城と一緒に見る桜に勝るものはないと思います。
大阪府・男性



編集部より

桜とお城の組み合わせは、写真映えしそうですね。

大田区田園調布にある桜坂です。狭い坂ですが、とてもきれいですよ。
神奈川県・男性



編集部より

初めて訪れたとき、こんな美しい桜スポットがあるんだと驚きました。

香川県 紫雲出山

山頂に咲く満開の桜と瀬戸内海の島々はワールドクラスの絶景！
三重県・男性



編集部より

桜の優しいピンクと瀬戸内海や空の爽やかな青…最高のコラボですね！

三重県津市の借楽公園

出店もたくさん出ており雰囲気最高。
三重県・男性



編集部より

美しい桜とおいしい出店…“花”も“団子”も味わえる贅沢なひとときですね！

千葉県松戸市の八柱霊園近くのさくら通りです。桜のアーチをくぐる感じがいい。
東京都・男性



編集部より

この道を通るためだけでも、松戸市に行きたくなりました！

長崎市野母町にある権現山。展望台があり今話題の軍艦島と桜が望めます。
長崎県・男性



編集部より

昨年話題になったドラマの舞台です、これから観光客が増えそうですね。

岡山県北の醍醐桜です。カフカの世界のようなシュールな樹で、毎年魅せられます。
岡山県・女性



編集部より

丘陵の上に1本だけ桜が咲く景色…。私も魅了されてしまいそうです！

神奈川県厚木市の相模川にかかっているあゆみ橋の北側の桜のドームが綺麗です。
神奈川県・男性



編集部より

ドーム状ということは、見渡す限り桜ということでしょうか？ 気になります！

まとめ

他にも、東京都の目黒川や長野県の高遠城址公園など、全国の桜の名所が盛りだくさんでした。ご回答いただいた皆さま、ありがとうございました！

車を選ぶときのこだわりは？

ドリンクホルダー

運転中水分が欲しいときにあって欲しいところがないとストレスになるから。
兵庫県・男性



編集部より

飲み物がすぐ取れないのって、意外とストレス…。細かい部分ですが、こだわりたいところです。

安全性

万が一のときを考慮し、安全な車体と機能を装備した車を選びます。
群馬県・男性



編集部より

交通事故を防ぐには、安全運転だけではなく、優れた安全性能を持つ車に乗ることも大切ですね。

インテリア、見た目が豪華な装備、長く乗れるシートを重視します。
神奈川県・男性



編集部より

車内で過ごす時間が長いことを考えると、内装はこだわりたいですね！

修理費が掛からない車(最近ユニット交換とかで部品代が高価になっているので)。
静岡県・男性



編集部より

高い買い物になりますし、やっぱりコストも気になります。

クーペが好きです。車の顔を見て惚れた子に乗ります。見た目重視！
静岡県・女性



編集部より

クーペ、私も好きです♪ スタイリッシュなのにかわいらしさも感じます。

視野の広い、広範囲にわたって外界が見渡せる車両。
愛知県・男性



編集部より

前後左右の見切りがいい車はストレスなく運転できますし、何より安全！

腰痛で悩んでいるので、サスペンションや座席シートなどがいいとうれしいです。
愛媛県・男性



編集部より

長時間乗ることを考えると、シートの座り心地は重要ですね。

一目見て自分の愛車と分かる目立つ車。
山口県・男性



編集部より

目立つ車は視認性も高いので、夜間に運転するときも安全な気がします。

まとめ

皆さまのこだわりが、思いのほか千差万別で驚きました。自動車メーカーも腕が鳴りますね！ 貴重な意見、ありがとうございました。

今回の募集テーマは…

母の日に何を贈る？

5月の第2日曜日は「母の日」です。毎年何を贈ればいいのか悩んでいる人も少なくないはず。皆さまがおすすめしたいプレゼントは何ですか？ おすすめの理由も併せて教えてください。

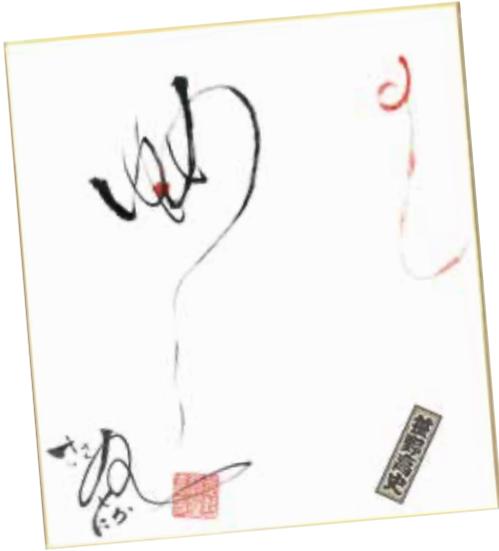
あなたの好きな車のボデータイプは何？

スタイリッシュなスポーツカー、使い勝手のいいSUV、かわいらしいコンパクトカーなど、車のボデータイプの好みは人それぞれ。あなたの好きなボデータイプは何ですか？ 好きな理由も併せて教えてください。

ご回答いただいた内容は「2025 05/06号」にて掲載の予定です

Present

アンケートにご協力いただいた方に
貴重なサイン色紙やFUSOオリジナルグッズをプレゼント!



笹野高史さん
サイン色紙

3名様

プルバックカー
(Canter)

5名様



プルバックカー
(eCanter)

5名様



タオル
(三菱スリーダイヤ柄)

5名様



高級タンブラー

5名様



スタンドワイヤレス
充電器

5名様

アンケート&応募方法

スマホ&PCから簡単にご回答いただけます



スマートフォンから



PCから

[https://forms.gle/
bx5MAGbCDv1JpzmQ6](https://forms.gle/bx5MAGbCDv1JpzmQ6)



プレゼント応募も
同時にOK



回答&応募締切

**2025年
4月30日(水)**

※ご記入いただきました内容は「FUSO magazine」誌面充実のためにのみ利用させていただきます。ご本人の同意なく、個人情報を第三者に開示することはいたしません。個人情報に関するお取り扱いにつきましては、三菱ふそうトラック・バスのホームページをご覧ください。

その進化は、すべての人のために。

地球で暮らすすべての人々の生活が、環境が、時代が、変わりゆく今。

持続可能な社会を、次世代へと繋いでいくために。

スーパーグレートは、さらなる進化を遂げました。

働き方を変える、新たな快適性を。

環境に経営に、新たな効率性を。

安心も信頼も届ける、新たな安全性を。

暮らしを支える輸送を進化させることが、人と社会に次なる未来を導くと信じて。

社会をよりよく動かしていく進化を、さあすべての人のために。



新型 **SUPER GREAT** Debut!



SUPER GREAT
イメージ映像はこちら

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ



三菱ふそう
公式アカウント



スマホのカメラでQRコードを読み込むだけ！

三菱ふそうトラック・バス株式会社

www.mitsubishi-fuso.com